

# 新年おめでとう

## ございます



皆さまには、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、9月4日に市街地を襲った竜巻、10月には台風26号と災害の多い年でありました。

災害からの復興の中で、多くの方からの温かいご支援をいただきましたことに心から感謝し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年は、子育て環境の充実を図るため「18歳までの医療費の無料化」、公立保育所、民間保育園、幼稚園における「第3子以降の保育料の無料化」を行い、市のホームページのリニューアルに併せ、矢板市公式ツイッターや子育て支援メールマガジンの配信もスタートいたしました。

現在、矢板市は「子育て環境日本一」を目指し、様々な施策を展開しておりますが、「矢板で子育てをする、矢板に来て子育てをする」ということが子育て世代に浸透していただければと思います。

また、矢板市の恒例行事となりました、市民の方々による川崎城跡公園を会場とした「あんどんまつり」や、第6回の開催となる「花火大会」、5月と11月に開催された軽トラ市も盛大に行われました。

これも、市民力が着実に浸透・結実している証しであり、頼もしさを感じることができました。平成26年は、厳しい財政状況の中でも、引き続き「子育て環境日本一」を目指した施策を展開し、矢板市に住みたい、住んで良かったと思っただけのような、まちづくりを進めてまいります。

結びに、皆様のますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

矢板市長 遠藤 忠

# 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、市政並びに市議会の活動に対する皆様の温かいご理解と力強いご支援により、円滑な議会運営ができましたことに心から感謝し、改めて厚くお礼申し上げます。

さて、ご案内のとおり、国政においては安倍政権による経済政策「アベノミクス」が奏功し、企業業績は長年の低迷期を脱して改善傾向が顕著であり、株価も大きく上向くなど、国内景気には明るい兆しが見えております。

一方で、地方においては、いまだ好況感からは遠く、地域格差が拡大しており、厳しい状況が続くことが懸念されます。

矢板市においても、少子高齢化と人口減少の進行、税収の低迷等による財政のひっ迫など、さまざまな難題を抱える中、教育や福祉の更なる充実、社

会資本の整備など、広範で、かつきめ細やかな行政サービスが求められるとともに、活力ある矢板市の実現が急務となっております。

こうした状況において、地方議会の果たすべき役割は、ますます重要になってまいります。私たち市議会議員は、活発な議論を通じて切磋琢磨するとともに、皆様の目線に立って、より身近な、開かれた議会運営を心がけ、市議会としての責務を着実に果たしたいと存じます。

結びに、市民の皆様にとりまして、本年が幸せで実り多い、大いなる飛躍の年となりますことを祈念いたしますとともに、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

矢板市議会議長 大島 文男

